

# 令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 舞鶴市立白糸中学校 】

1 実践テーマ	【 I・II 】
2 実施対象者	全校生徒 436名
3 展開の形式	学校における活動 教科名（ 保健体育・特別活動 ）
4 目標 (ねらい)	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、オリンピック・パラリンピックの開催が1年延期されるという前代未聞の事態となっているなか、開催予定の2021年に入っても、いまだ感染拡大が収まらない状況にある。日本国内では、ワクチンの接種状況が十分でないうえに医療スタッフ従事による病院医療体制への負担増加、選手等関係者からの感染拡大など、多くの懸念がある中での開催となる。このように開催を不安視する意見があるなかで、「なぜ、今、オリンピック・パラリンピックを開催するのか」について、オリンピック・パラリンピック本来の意義等について図書を通して触れ、その価値を学ぶとともに自ら考える機会とする。また、探求型学習として競技紹介新聞を作成することで、自分の興味がある競技を深く学び、周囲への情報発信を行う。実技として、パラスポーツを体験することで共生社会に向けた理解教育の場とする。
5 取組内容	<p>(1) オリンピック・パラリンピックについての学習 第2学年 保健体育 「競技紹介新聞の作成・掲示」</p>  <p>(2) パラスポーツ体験 女子全学年 保健体育「シットイングバレーボール」</p> 

	<p>(3) オリンピック・パラリンピック啓発資料・書籍の展示 全学年 図書室</p> 
<p>6 主な成果</p>	<p>(1) オリンピック・パラリンピックについての学習 自分で設定した競技や注目選手についてまとめることを通して、競技の魅力を発見できた。また、掲示をすることで他生徒も新聞を読み、オリンピック・パラリンピックに向けた興味関心が高まった。</p> <p>(2) パラスポーツ体験 競技を通して特性や楽しみを身近に感じることができ、パラスポーツについて興味関心が高まった。</p> <p>(3) オリンピック・パラリンピック啓発資料・書籍の展示 オリンピック・パラリンピックの歴史や理念、競技の魅力、エピソードなどについて触れる機会となった。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>(1) オリンピック・パラリンピックについての学習では、自己のまとめで終わらず、新聞として掲示することで交流や学びの広がりを持てるように工夫した。</p> <p>(2) 継続的に形として残り、誰でも手に取って体験できる資料として、「オリンピック・パラリンピック啓発資料・書籍の展示」を行った。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>単発的な取組にならないように、一度に多くの内容を入れ込むのではなく、各教科の授業内容でオリンピック・パラリンピックの要素を随所に活用していくことが生徒も理解しやすいと感じた。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>今回、オリンピック・パラリンピックそのもの恒久的な価値や理念についての学び、スポーツに関しても興味を引く機会となった。また、障がい者理解教育や人権学習の題材としても有効であったため、次年度以降も形は変わっても、オリンピック・パラリンピックを通じた学習実施に向けて前向きに検討する。</p>